

ヨシュア 14:6-15

06 ときに、ユダ族がギルガルでヨシュアのところに近づいて来た。そして、ケナズ人エフネの子カレブが、ヨシュアに言った。「主がカデシュ・バルネアで、私とあなたについて、神の人モーセに話されたことを、あなたはご存じのほうです。

07 主のしもべモーセがこの地を偵察するために、私をカデシュ・バルネアから遣わしたとき、私は四十歳でした。そのとき、私は自分の心の中にあるとおりを彼に報告しました。

08 私といっしょに上って行った私の身内の者たちは、民の心をくじいたのですが、私は私の神、主に従い通しました。

09 そこでその日、モーセは誓って、『あなたの足が踏み行く地は、必ず永久に、あなたとあなたの子孫の相続地となる。あなたが、私の神、主に従い通したからである』と言いました。

10 今、ご覧のとおり、主がこのことばをモーセに告げられた時からこのかた、イスラエルが荒野を歩いた四十五年間、主は約束されたとおりに、私を生きながらえさせてくださいました。今や私は、きょうでもう八十五歳になります。

11 しかも、モーセが私を遣わした日のように、今も壮健です。私の今の力は、あの時の力と同様、戦争にも、また日常の出入りにも耐えるのです。

12 どうか今、主があの日に約束されたこの山地を私に与えてください。あの日、あなたが聞いたように、そこにはアナク人がおり、城壁のある大きな町々があったのです。主が私とともにいてくだされば、主が約束されたように、私は彼らを追い払うことができますよ。」

13 それでヨシュアは、エフネの子カレブを祝福し、彼にヘブロンを相続地として与えた。

14 それで、ヘブロンは、ケナズ人エフネの子カレブの相続地となった。今日もそうである。それは、彼がイスラエルの神、主に従い通したからである。

15 ヘブロンの名は、以前はキルヤテ・アルバであった。アルバというのは、アナク人の中の最も偉大な人物であった。そして、その地に戦争はやんだ。

要約

神様が捨てれば、国もなくなる。エジプトも崩れる。神様が祝福すれば 1、2 人を通して国も回復する。モーセ五書がこの話だ。アナク山地をなぜまたするのか。勉強ではない。必ず神様がくださる答えを確認しなければならない。何を確認すべきか。アナク山地はすでに征服されたことだ。神様が約束された。

□序論_すると何を見つけなければならないのか

△ほとんどの信徒が質問することが全く同じだ。不信仰になったり、時々揺れることもあるが、どんな祈りをどのようにしなければなりませんか、と質問する。ヨシュアはそのように祈ったことがない。

1. ヨシュアは普段にサミットタイムを味わっていた

- 1) モーセを見ながら神様のみことばを普段に自分に編集
- 2) 40 年間祈りを継続しながら、答えとは関係なく神様の働きを説明(設計)
- 3) カナンの地に入って世界福音化することをずっとデザイン

2. 祈りを普段に持っていれば先に見る目が変わる

- 1) 物質(経済)を見る目が変わる。

△荒野に行く中で、最も隠れた問題が物質。カナンに入れなかった人々はエジプトにいたとき、安全に暮らしていたのではないかと言うこと。危機がくるたびにエジプトの地に戻って奴隷で生きるのが正しいのではないかと言うこと。しかし、エジプトから出てくるとき、すでに神様が働き。幕屋を作っても残るほど、それまで集めた金銀みな持つてくるようにされた。アマレクの戦闘を通して家を、エリコ征服を通して主の倉庫を満たして、エモリ連合軍に勝つことでカナンの地に入って行くことができる力を十分にされた。

- 2) 問題を見る目が変わる。

△過去に縛られた人は必ず失敗。今日に縛られている人は必ず葛藤。未来に縛られている人は必ず勝利

- 3) 未来を見る目が変わる。アナク山地はすでに神様がくださったのだ。

3. この能力(力)を回復しなければならない。目に見える答えはそれからくる

△夜中、悩んでみなさい。病気はそれからくる。霊的な祝福を味わえば、それから霊的な御座の答えがき始める。

□本論_何が重要なのか。エリコ、アナク山地は重要ではない

1. 民 27:18 神の霊の宿っている人、ヨシュア

1. 24 祈りで御座の力が編集された者
2. 25 祈りの設計で時空を超越した者
3. 永遠という時刻表の中で祈る 237 の光を持った者
- これを神の霊に満たされた者

1) モーセの従者であったあとで後継者になった人

2 大胆な信仰の人(民 14:6-9)

△私たちは神様がくださったことを持って行く。それ悟るのが普通の祈り

3) とても知恵ある将軍

4) とても大きい指導力と信頼がある人

△そうなるしかない!ただ主だけを見上げた。ただみことばだけについて行った。ただ神様の力だけについて行った

2. 神の霊の宿っている人の現場

△みなさん現場に聖霊の働きが起きる、その話だ。そのようになれば、どうなるのか。

1) 過去がすべて答えー当然、必然、絶対が見える。

2) 今日が答え-アナク山地

△民はアナク山地の前で 45 年前そのまま恐れるが、そのとき、出た老人カレブは、モーセを通してカナンへの地に入ることを告げられたことと、もし主が私とともにおられるなら、必ずこの地を占めることを告白。これが神の霊の宿っている人の現場を見る目

3) 神の霊の宿っている人の者の目は、未来がすなわち答え

3. 神の霊の宿っている人の同労者二人(弟子化)

△弟子化されてこそ、働きが起きる。タラップンを開くとき、弟子を見つけることを基準としなさい!産業もこのようにすべき(弟子精神)。弟子を集めなさい

1) 弟子は問題のために試みに会わない。

2) 弟子はどんなことあっても揺れない。

3) 弟子は人のために試みに会わない。

△ヨシュアとカレブ二人が信仰で告白。震えおののいていることを正確に見たのだ。神の霊の宿っている人、神の霊の宿っている人の現場、神の霊の宿っている弟子、終わりだ。

□結論_残った神様の計画

△アナク山地を征服して、カナンへの地に行くのではない。237 か国に、また、そこに病んでいる者、次世代を生かせということ

全文打ち出し翻訳

私たちのインマヌエルに自慢することはありませんが、恵みを受けたことは多いです。一度も私たちは強調しなかったのですが、インマヌエルの名前でも RUTC 献金は 1 位です。何百億が、ソウル、釜山合わせればそのようにささげられました。各種の宣教大会といえども当然 1 位です。参加と献金金額です。一度も強調しませんでした。みなさん、237 献金ありますね。インマヌエルが 1 位です、確認してみてください。

インマヌエルソウルが、神殿の準備ができました。すでにインマヌエル時代が始まりました。釜山に、私たちは神殿を建築して決意する日、神様はインマヌエル時代を開いてくださるでしょう。

私たちは人なので、ほとんどの何か、あの人はどんな人だ、この人はどんな人だ、こう考えて仕事をします。ところが、神様はそのように御覧になりません。神様が捨てれば、国もなくなります。神様が祝福すれば国も回復します。

今、モーセ五書の話はその話です。神様が捨てればエジプトも崩れます。神様が祝福すれば 1、2 人通しても、国も回復します。このアナク山地、前にしたのに、なぜまたするのでしょうか。私たちはここに今、勉強しにきたわけではありません。必ず神様がくださる答えを確認しなければなりません。今日、何を確認しなければなりませんか。アナク山地はすでに征服されたのです。そうでしょう。神様が約束されました。

□序論_すると何を見つけなければならないのか

すると、私たちは何を見つけなければならないのでしょうか。

多くの信徒が質問することが全く同じです。「ああ、祈りはどのようにすればよいのですか。」また、「ああ、ときどき私が不信仰になったりします」このようにです。「本当に神様の恵みで今まで生きてきましたが、私は時々揺れたりもします」「どんな祈りをどのようにしなければなりませんか」このようにたくさん尋ねます。

1. ヨシュアは普段にサミットタイム味わっていた

ヨシュアはそのように祈ったことはありません。ただ二人だけが入りました。エジプトから出て、エジプトを見たその人の中で、カナンへの地に入った人はヨシュアとカレブしかいません。残りは神様が呼んで行かなければならない理由があるので、呼んで行かれました。残りは神様が連れて行く理由があるので、新しく生まれるようにしました。ものすごく重要な話になります、そうでしょう。それゆえ、今から答えを受けるために、何か「私がどんな祈りをささげた、どんな答えを受けた」それが重要なわけではありません。

1) モーセを見ながら、神様のみことばを普段に自分に編集した

ヨシュアは普段に、すでにサミットタイムを味わっていました。それが編集です。モーセを見ながら、神様のみことばを普段に自分に、ものすごく編集をさせるのです。

2) 40年間、祈りを継続しながら、答えとは関係なく神様の働きを説明(設計)した

40年間、祈りを継続しながら、答えとは関係なく神様の働きを設計しました。

3) カナンの地に入って、世界福音化することをずっとデザインした

そして、カナンの地に入って、世界福音化することをずっとデザインしたのです。これが重要です。

2. 祈りを普段に持っていれば、先に見る目が変わる

こういうとき、どのように祈らなければなりませんか。これも重要ですが、普段に持っているべきです。こうしてしまえば、まず見る目が変わります。そうでしょう。私がお腹が痛いときに見る目と、お腹が痛くないときに見る目は違います。そうでしょう。そうじゃないでしょうか。お腹を下したときにトイレを見る目と、普段に見る目とは違います。

1) 物質(経済)を見る目が変わる

このように、その荒野に行く中で、最も隠された問題はなんでしょうか。

物質を見る目が違ったのです。ほとんどの人、カナンの地に入れなかった人は、大部分、何を話たかという「私たちは、エジプトにいたとき、安全に暮らしていたのではないか」これです。このように見るのです。正しい言葉のように見えます。それは、もう目が違っているのです。危機がくるたびに「いや、ここで死ぬよりは、エジプトの地に戻って、奴隷をしながら生きるのがさらに正しいのではないか」これです。その基準がいまのことばで言うなら、物質を見る目がすでに変わってしまっているということです。全く錯覚です。

この祈りの奥義をあらかじめ味わっている人は、三つの時間を味わわなければなりません。編集、設計、デザインというのは、何の話でしょうか。私がサミットタイムを味わわなければならず、神様の働きを設計しなければならず、私が何のためにこの仕事をしなければならぬか、未来をデザインしなければならぬ、この話です。

エジプトから出るとき、すでに神様が働かれました。パロ王が何と言ったのでしょうか。「おまえたちがいままで集めた金銀、すべてを持って行け」いや、「置いて行け」こう言わなければならぬでしょう。すべてのものみな持って行け。わかりませんが、パロ王がとても焦って地価も計算したかもしれません。とにかく、すべて持って行け、そう言いました。幕屋を作ってあまりある程ありました。そうでしょう。

神様がアマレクの戦闘を行われました。戦争には法則があるでしょう、そうでしょう。負ければ、みな出さなければなりません。

神様が、みなさんご存じのように、この今、エリコを崩されたのです。他の理由はありません。エリコを崩してから、神様がおっしゃったではないでしょうか。「そこで出てきた物は、個人的に欲を出さずに、みな主の倉庫に入れなさい」経済を見る目から違います。経済は足りなくなかったのです。それも、エモリ連合軍に勝ってしまったでしょう。カナンの地に入ることができる力は充分です。このように、違っているのです。

2) 問題を見る目が変わる

そして、問題を見る目が違います。みなさんは、三つの祈りの奥義を味わっている人は、それがすぐに残りの者、巡礼者、征服者ではないでしょうか。それを味わっている人は、目が変わります。

過去に縛られている人は、必ず失敗します。今日に縛られている人は必ず葛藤します。未来に縛られている人は、必ず勝利します。

3) 未来を見る目が変わる

そして、未来を見る目自体が違います。この今、ヨシュアとカレブは、「このアナク山地はすでに神様がくださったのだ」そうでしょう。何も震える必要もありません。民がまた、ぶるぶる震えて心配するのですが、する必要がないのです。みなさんがこの力を回復しなければなりません。必ず回復しなければなりません。いや、経済見る目が違ってしまっているのです。そうでしょう。

私たちの教会が、みなさんご存じのように、本当にここで私たちがお金を中心して、世界的な教会を作ることができます。ここに私たちの訓練させることみな、私たち教会に集めるなら、私たちの教会は、世界で一番大きい教会を作ることができます、そうでしょう。初めから私たちは、より大きいことを見ました。入ってくる収入はみな本部に送って、私たちの教役者の半分は本部の働きをして、そうしたのではないですか。経済を見る目が違います。そうでしょう。どちらが勝ちますか。すでに問題を見る目が違うのです。そして、未来を見る目が違うのです。神様が決めておかれたことをしっかりと握るのです。

3. この能力(力)を回復しなければならない

目に見える答えはそれから来ます。みなさんどうでしょうか。みなさんの残った問題は、どうすれば良いのでしょうか。はたして、問題になるでしょうか。何の力から得なければなりませんか。目に見える答えはそれから来るということです。みなさんが夜中に悩みに捕われてみてください。病気はそれからくるでしょう。みなさんが霊的な祝福をものすごく味わってみてください。それからは、霊的な御座の答えがき始める、これです。

口本論_何が重要なのか。エリコ、アナク山地は重要ではない

本論に入ります。何が重要ですか。エリコ、アナク山地は重要ではありません。

1. 民 27:18 神の霊の宿っている人、ヨシュア

最初です。民数記 27 章 18 節に説明されています。ヨシュアについて言うてことです。「神の霊の宿っている人」そう言われました。これがヨシュアです。

[24 祈りで御座の力が編集された者]

すると何の話でしょうか。24 祈りで御座の力が編集された者、その話です。

[25 祈りの設計で時空を超越した者]

25 祈りの設計で時空を超越する者、その話です。これが答えです。

[永遠という時刻表の中で祈る 237 の光を持った者]

永遠という時刻表の中で祈る、伝道がデザインされている、237 の光を持った者。そのことです。

1) モーセの従者だったあとで後継者になった人

聖書にそのように記録されています。民数記 27 章には、「モーセの従者だったあとで、後継者になった人」だと

2) 大胆な信仰の人(民 14:6-9)

民数記 14 章 6 節 9 節には「大胆な信仰の人」だと。エリコを回るときも「信じて、この町をすでに神様がくださった」そうです。私たちは、くださったことを持って行くのです。それを悟るのが普通の祈りです。神様がくださったこと、持って行くのですから。

私たちがする神殿建築は何でしょうか。教会堂を作ったら「どのように、何か世の中の人々のようにしてみよう」それではありません。すでに 237 いやしサミットを、くださったことを持って行くのです。

みなさんに産業をそこに杭を打ち込め、ということです。そうでしょう。そうしなければならないのです。すると前後で働きが起きるようになっていきます。体験しなければなりません。私は、私たちその、長老を見ながら、今日も感じました。「すばらしい」信仰が良いです。今日、建築報告するのを見ると「坪当たり、千万ウォンのかかるものを建築すべきです。それでこそ良い教会を作ることができる」と言いました。

「大きさは、それではどれだけ大きくしなければならないか、1 万坪すべきです」これです。それなら、価格は千億(ウォン)です千億。すると在職は 3 千人を越えます。それでは、私たちはその土地に杭を打ち込むのです。インマヌエル時代を開くのです。神様が働かれます。私たちの人生の本当の問題はなんでしょうか。回復した証人として立つことになるのです。

3) とても知恵ある將軍

ヨシュア 8 章に見れば、ヨシュアはとても知恵ある將軍だと記録されています。

4) とても大きい指導力と信頼がある人

とても指導力があって、信頼がある人だとなっています。そうなるしかありませんでした。ただ主だけ見上げました。この人は、ただみことばだけついて行きました。どのようにでしょうか。自分の手腕を見せることもありませんでした。ただ神様の力だけについて行きました。

そうです。ヨルダンを分けました、エリコを崩しました、エモリ戦闘に勝利しました。このようにして、きょう、アナク山地に到着したのです。「神の霊の宿っている人」を覚えるべきです。

2. 神の霊の宿っている人の現場

二つ目です。神の霊の宿っている人の現場です。みなさんの現場はそうなるでしょう。神の霊の宿るということは、何の話でしょうか。みなさんの現場に、聖霊の働きが起きてしまった、その話です。

1) 過去が全部答えー当然、必然、絶対が見える

その人がどうなると思いますか。そうやってしまえば、過去がすべてみな答えです。当然、必然、絶対が見えます。なぜ苦しみが来たのでしょうか。当然でしょう。なぜ私たちの会社が揺れますか。当然でしょう。それを見つけ出すのです。そして、必然を見つけて絶対を見つけるのです。

2) 今日が答えーアナク山地

神の霊の宿っている人の現場は、今日が答えです。それが違います。今日がどんな答えでしょうか。いや、45年前に「私たちは行くことはできません。そこには巨人が住んでいます。力が強いです。私たちはそれと比較すればいなかのようです」そこが、すなわちこの場所です。そこがこの場所です。民がこれを見て、また、その45年前の昔のことをそのまま恐れたのです。その土地を分配できるのかと、みんなが途方に暮れたのですが、そのとき、カレブが出てきたのです。

このとき、老人カレブが出ました。「私たちが45年前に、この土地に対して見て言ったとき、みんなが不信仰の報告をしたのではないか。私たちは信仰で神様の見た働きをあかしたのではないか。神様のしもべモーセは、そのとき、私たちの話を聞いてカナンの地に入れと言わなかったか。ところで、私たちは今ここに来ているのではないか。今、私の年は85歳であるが、戦うことができる」これは重要な話です。

私たちが今、これが、神の霊の宿っている現場を見る目です。このように言いました。「もし、主が私とともにおられるなら」これは謙そんです。私たちならば、「神様が絶対に私とともにおられるので」こう言うでしょうが、「もし私とともにおられるならば」その後何と言ったと思いますか。「必ず、この地を占領するだろう」それは信仰です。「あ、主が私とともにおられるなら、必ず、この地を占領できる」ということでしょう。

3) 神の霊の宿っている人の目は、未来がすなわち答え

神の霊の宿っている人の現場は、未来がすなわち答えです。何でしょうか。過去、現在、未来が答えとして見える、この話です。終わったのです。みなさんがこの祝福を受けて、カナンの地に入るということです。私たちの次世代が、この契約を持って世の中に出て行きなさいということであって、まごまごしながら世の中に出て行けば、どのように世の中に勝つことができるでしょうか。だまされるでしょう。そうでしょう。「どんな問題がきても大丈夫」みなさんがこの答えを持って出て行くべきで、私がいつも不安でぶるぶる震えながら、どのように世の中に勝つのでしょうか。

みなさん、スポーツ選手の監督がこのように話しました。同じ選手でも、まちがいを指摘してしまえば、技能の30パーセント(%)喪失するようになってしまいます。うまくできていたことが、できないのです。ところが、その選手が力が出て走るとき、監督がこうすれば(親指を上げて good のサイン)、前にあった実力より約30倍、さらに出ます。30パーセント(%)が。

人とはそういうものです。人は霊的な存在であるために、みなさんがとても恐れて、心配に捕われれば、度々錯覚して、間違っているのです。みなさんが精神をぴったり整えて契約を握れば、正確に見え始めます。私たちが奴隷になったのは、当然の理由があります。ですから、神様が、今、私たちを解放して、この苦しみの場にいるようにされたのです。それならば、为什么呢。神様の絶対計画をもって呼ばれたのでしょうか。

3. 神の霊の宿っている人の同労者二人(弟子化)

三つ目です。神の霊の宿っている人の同労者二人です。すごいでしょ。みなさん、この目を開かなければなりません。神の霊の宿っている人、弟子化されてこそ、みわざが起きます。きのう、残念な話をオーストラリア、オセアニア集会の時にしたのですが、みなさんがぴったり何人が組んでタラップを開く時に、弟子を見つけることを基準として弟子を見つけたら、そこに行く必要はありません。また見つけて、また見つけて。いくらでもいます。私がここにはじめてきて、タラップ30か所を直接したのではないのでしょうか。今はしません。する必要がないから。なぜでしょうか。すでに弟子がみな立ってしまったので。他の所に行くべきでしょう。みなさん、産業もそのようにしなければなりません。弟子化精神、これがあってこそ産業も正しくできます。

私が昔にそのような話を一度しました。今は法が変わって、そのようにできないのですが。昔に、私がある薬剤師に「ほら！薬局をおよそ100個作りなさい。弟子100人立てれば良いことではないか。半分自分が持っていけと行って、半分宣教費に出せば、良いことではないか」お金はいくらでも儲けるのですが、何をそうしているのか。問題は弟子です。神の霊の宿っている人。わからなければなりません。

私、テコンドーをする人を見てそう言います。「ああ、何をしていますのですか。あちこちにテコンドーすることができる現場に行って、現場チーム働きをなささい。ショーも見せて、テコンドー見せて。そうして、人を多く集めようとせずに、弟子を集めなさい」

1) 弟子は問題のために試みにあわない

弟子は行きません。弟子は教会のために試みにあう、そのようなことはありません。試みにあう、それは弟子ではありません。そこで、わかります。

2) 弟子は人ゆえに試みにあわない

弟子は人ゆえに試みにあいません。弟子は問題ゆえに試みにあいません。それは弟子ではありません。

3) 弟子はどんなことあっても揺れない

弟子はどんなことがあっても揺れません。事業もそのようにしなさいということです。そうでしょう。

これがヨシュア、カレブ、二人がぴったり会ったならば、終わりなのです。イスラエルが、偵察に行ってきた最大の混乱がきたとき、ほとんどの人々は不信仰です。神様のみことば、ことばはみことばであって信じません。国が揺れて、大騒ぎが起こったのです。荒野で。二人が信仰で告白をしたのです。無理に「信じます」ではありません。正確なことを見たのです。霊的な目で。この人たちは、霊的な人々であるから。話にならないことを言ったということです。今、エジプトで起きた事件を聞いて、カナンの人々はぶるぶる震えて、震えおののいて大騒ぎしている、終わったのです。そうでしょう。震えおののく（肝胆が溶ける）肝臓と胆のうが溶けた、ということです。それがいつ溶けるのかと尋ねたのですが、とても心労があつて、あまりになら肝臓と胆のうが溶けます。そうでしょう。一つだけ溶ければ良いのですが、二つともみな溶けてしまったのです。お医者さんに尋ねました。そのように、肝胆が溶けたら、どのようになりますかと問うたら「歩けません」こう言いました。肝臓と胆のうが二つとも溶けてしまうのに。それをすでにヨシュアとカレブが見たのです。それゆえ、他のほとんどの人々がでたらめの話をしていたのです。「私たちは入れば死ぬ」何かこのような形で。その現場です。ここが今。神の霊の宿っている人。ヨシュアが。神の霊の宿っている現場。終わりです。神の霊の宿っている弟子。これが手を握ったのです。

□結論_残った神様の計画

今日、みなさん、このタイムを持ってください。私が一番難しいとき、何度かみなさんにあかししたでしょう。私はみなさんに会ったことが、とても感謝です。みなさんのようにです、重職者がですね。福音を伝えようと努めて、私はそういうことを昔には見たことがありませんでした。私は、事実、ヨンド、ここにきて見ました。

私は幼いときから信仰生活した者です。教会にすれば、毎日、むだな話をして、自分の話をして、戦って、これが教会だったのです。ここはすでに事実、私にくる前にも、すでにこの人たちが、使命者がここに集まっていました。そうです。来ても使命者だけ来て。どこから、何か遠くから、どこから来るのですが、すべて伝道のために使命者が来ました。

それがどれくらい感謝が分かりません。私に来る前に、とても苦しみました。そのとき、だまされてはいけません。そのとき、私がこの祈りをささげたのです。「神様!本当に私は他のことではなくて、また、必要ないので、本当に御座の力で、神様が時空超越と、本当に世界福音化する力によって、私を導いてください」そのような苦しみにみな誰でも会うのに、このような答えを受ければ違います、そうでしょう。その上、そのよくしたこともないのに、ここにきて30年40年ずっと伝道運動だけしたのではないのでしょうか。こういう祝福がどこにあるのでしょうか。それなら、残った神様の計画は何でしょうか。アナク山地を征服してカナンの地に行くのではありません。237か国に、また、そこに病んでいる人々、次世代を生かすということです。この契約を握るのです。今週にも深い恵みの時間があることをイエス・キリストの御名によって祝福します。祈ります。

祈り

神様ありがとうございます。私たちに重要な時刻表を与えてくださり、すべての信徒が神の霊の宿っている人と、現場と友人を、弟子を立てますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン